

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公開番号】特開2002-325913(P2002-325913A)

【公開日】平成14年11月12日(2002.11.12)

【出願番号】特願2002-87976(P2002-87976)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月21日(2006.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示装置と、

始動条件の成立を検出する検出スイッチと、

その検出スイッチが前記始動条件の成立を検出したときに所定のカウンタの値を抽出する抽出手段と、

その抽出された所定のカウンタの値を記憶する記憶する記憶手段と、

その記憶手段に記憶された所定のカウンタの値が当り値である場合に当りパターンの変動表示を選択し、前記記憶手段に記憶された所定のカウンタの値が前記当り値以外である場合にはそれパターンの変動表示を選択する変動パターン選択手段と、

その変動パターン選択手段の選択した変動パターンに基いて前記表示装置を表示制御するとともに、該変動パターンに応じた停止図柄を変動停止時に表示する表示制御手段とを有し、

表示装置に複数の図柄列と、その図柄列とは異なる装飾画像とを含む表示画像を表示し、

前記表示制御手段によって前記複数の図柄列を順次停止させた場合に、前記複数の図柄列のうち1つの図柄列が変動中であって、その他の図柄列の組合せが前記予め定めた当り図柄の組合せの一部を構成する場合に、最後に停止する図柄列にリーチ変動させるとともに、

前記表示制御手段によって前記最後に停止する図柄列が停止して前記予め定めた当り図柄の組合せとなった場合に所定の入賞口を開放して前記当り遊技状態を発生させる遊技機において、

前記表示制御手段は、

複数のキャラクタの画像情報を記憶したキャラクタ画像記憶手段と、

前記装飾画像に前記複数の図柄列の変動開始から変動停止まで継続して前記複数のキャラクタのうち所定のキャラクタを表示するキャラクタ表示手段と、

前記リーチ変動において前記複数のキャラクタ毎に固有の演出表示を行うキャラクタ演出表示手段とを備え、

さらに、表示中の前記所定のキャラクタを、他のキャラクタに切り替えるか否かの判定を行う切り替え判定手段と、

前記切り替え判定手段に基いてキャラクタ画像を切り替える場合に、変動開始後にキャラ

ラクタの切替表示を行うことでそれまで表示されていたキャラクタを異なるキャラクタに切り替えるキャラクタ切替手段とを有することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記キャラクタの演出表示手段には、前記キャラクタ画像毎の固有の演出表示として大当たりの期待度の異なる複数の演出表示を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。